

昭和58年度水稻作関係 除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

昭和58年度水稻作関係除草剤試験成績中央検討会は、昭和58年12月15～16日の2日間、植調会館において開催された。その結果の概要を報告する。

1) 第1次適用性試験(適1)成績の検討

昭和58年度の適1試験は、北海道地域(植調岩見沢試験地)、東北地域(植調古川試験地)、北陸地域(植調新潟試験地)、関東地域(植調研究所)、近畿地域(植調滋賀試験地)、中国地域(植調広島試験地)、四国地域(徳島県農業試験場)、九州地域(植調佐賀試験地)の全8地域で43薬剤(のべ238点)について実施した。その判定結果は、第1表のとおりである。

2) 第2次適用性試験(適2)成績の検討

昭和58年度の適2試験は、次のような内訳で実施した。すなわち、稚苗移植栽培の移植前の土壌混和处理(のべ55点)、移植前後土壌処理(133点)、移植後土壌処理(288点)、移植後茎葉兼土壌処理(47点)、適用時期拡大(84点)、特殊雑草防除(27点)、湛水直播栽培用(29点)、乾田直播栽培用(1点)、畦畔雑草用(19点)、体系是正用(148点)の総のべ点数は831点であった。これら試験の判定結果は第2表、実用化可能と判定された除草剤の使用基準は第3表のとおりである。

第1表 昭和58年度水稻作関係除草剤適1試験成績判定結果一覧表

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および含有率(%)	試験実施地域	判 定 結 果 概 要	
1	AH-40	粒	未 公 開 8	北海道, 近畿, 九州 (3)	□	
2	AH-41	粒	未 公 開 (3種) 8 + 1.5 + 0.8	北海道, 東北, 北陸, 関東, 近畿, 中国, 九州 (7)	□～○	一年生・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ, 効果の変動あり。
3	BAS-514	粒	未 公 開 1	北海道, 東北, 四国, 九州 (4)	□	
4	CG-113(改)	粒	CG-113 2	関東, 四国, 九州 (3)	○	薬害は従来剤に比べ軽減された。効果については従来剤と変わらない。

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および含有率(%)	試験実施地域	判 定 結 果 概 要	
5	CH-831	粒	R-4574 8 既知化合物 2 + 1.3	北海道, 東北, 北陸, 関東, 近畿, 四国, 九州. (7)	□	
6	CH-832	粒	R-4574 10 既知化合物 0.7 + 1.5	北海道, 東北, 北陸, 関東, 近畿, 四国, 九州. (7)	□	
7	DPX-84	粒	DPX-84 0.25	北海道, 東北, 北陸, 関東, 近畿, 中国, 九州. (7)	温暖地以北□ 暖 地 △	
8	DPX-84A	粒	DPX-84 0.25 ベンチオカーブ 7	北海道, 東北, 北陸, 関東, 近畿, 中国, 九州. (7)	全 域 ○	一年生・マツバイ・ホタルイ・ヘ ラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤ ツリ・クログワイ(ノビエ2Lま で).
9	DPX-84A①	粒	DPX-84 0.17 ベンチオカーブ 7	北海道, 東北, 北陸, 関東, 近畿, 中国, 九州. (7)	温暖地東部以 北 ○ 温暖地西部以 西 ◎	一年生・マツバイ・ホタルイ・ヘ ラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤ ツリ・クログワイ・ヒルムシロ(ノ ビエ2Lまで).
10	DPX-84M	粒	DPX-84 0.25 MY-93 10	北海道, 東北, 北陸, 関東, 中国, 九州. (6)	温暖地東部以 北 ○ 温暖地西部以 西 ◎	一年生・マツバイ・ホタルイ・ヘ ラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤ ツリ・クログワイ・ヒルムシロ(ノ ビエ2Lまで).
11	DPX-84M①	粒	DPX-84 0.17 MY-93 10	北海道, 東北, 北陸, 関東, 近畿, 中国, 九州. (7)	温暖地東部以 北 ○ 温暖地西部以 西 ◎	一年生・マツバイ・ホタルイ・ヘ ラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤ ツリ・クログワイ・ヒルムシロ(ノ ビエ2Lまで).
12	FSB	粒	NTN-801 3.5 ピラゾレート 4 ペンタゾン(Na) 5.5	北海道, 東北, 北陸, 関東, 近畿, 中国, 九州. (7)	寒 地 ○ 寒冷地以西◎	一年生・マツバイ・ホタルイ・ヘ ラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤ ツリ・ヒルムシロ(ノビエ2.5～ 3Lまで).
13	HMT-317	粒	HW-52 7 ナプロアニリド 7 S-47 6	東北, 北陸, 関東, 近畿, 中国, 九州. (6)	□	
14	KUH-831	粒	未公開(新規化合物) 2	東北, 関東, 九州. (3)	△	
15	KUH-832	粒	KUH-831 (新規化合物) 2 ベンチオカーブ 7	北海道, 東北, 北陸, 関東, 近畿, 四国, 九州. (7)	□	

No	薬 剤 名	剤型	有効成分および含有率(%)	試験実施地域	判 定 結 果 概 要	
16	MK-161	粒	未公開（新規化合物） 2	北海道，東北， 北陸，関東， 近畿，四国， 九州。（7）	△	
17	MK-162	粒	未公開（新規化合物） 3	北海道，東北， 北陸，関東， 近畿，四国， 九州。（7）	△	
18	MT-227	粒	MT-124 既知化合物 2 4	北海道，東北， 関東，近畿， 九州。（5）	寒地，寒冷地 ◎ 温暖地 ○ 暖地 ×	一年生・マツバイ・ホタルイ・ヘ ラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤ ツリ（ノビエ1.5Lまで）。
19	MT-228	粒	MT-124 既知化合物 15 8	北海道，東北， 関東，近畿， 九州。（5）	温暖地以北□ 暖地 ×	
20	MY-45	粒	MY-71 既知化合物 5 4	北海道，東北， 北陸，関東， 近畿，中国， 九州。（7）	全 域 ○	一年生・マツバイ・ホタルイ・ヘ ラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤ ツリ（ノビエ1.5Lまで）。
21	MY-93SM	粒	MY-93 シメトリン MCPB 10 1.5 0.8	北海道，東北， 北陸，関東， 近畿，中国， 九州。（6）	□	
22	NC-309	粒	未公開（2種） 1.2 + 1.5	北海道，東北， 北陸，関東， 近畿，中国， 九州。（7）	□	薬害について検討。
23	NTN-831	粒	NTN-801 ナプロアニリド S-47 3.5 7 4	北海道，東北， 北陸，関東， 近畿，四国， 九州。（7）	全 域 ○	一年生・マツバイ・ホタルイ・ヘ ラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤ ツリ（ノビエ2.5Lまで）。
24	S-476	粒	未公開（2種） 4 + 0.07	北海道，東北， 北陸，関東， 四国。（5）	□	
25	SDH-44	粒	未公開（2種） 4 + 4	北海道，東北， 北陸，関東， 近畿，四国， 九州。（7）	△	
26	SL-496 (UO-2)	粒	SL-49 CG-113 8 1.5	北海道，東北， 北陸，関東， 九州。（5）	全 域 ○	一年生・マツバイ・ホタルイ・ヘ ラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤ ツリ（ノビエ1.5Lまで）。

No.	薬 剤 名	剤 型	有効成分および含有率(%)	試験実施地域	判 定 結 果 概 要	
27	SL-496 ㊦ (UO-4)	粒	SL-49 6 CG-113 1.5	北海道, 東北, 北陸, 関東, 九州. (5)	全 域 ○	一年生・マツバイ・ホタルイ・ヘ ラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤ ツリ(ノビエ1.5Lまで).
28	SR-831	粒	未 公 開 (2種) 1.5 + 5	北海道, 東北, 北陸, 関東, 近畿, 四国, 九州. (7)	寒地, 寒冷地 ○ 温暖地以西△	一年生・マツバイ・ホタルイ・ヘ ラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤ ツリ(ノビエ1.5Lまで).
29	TH-420	粒	未公開(新規化合物) 4	東北, 関東, 九州. (3)	△	
30	TH-819	粒	未公開(新規化合物) 7	東北, 関東, 九州. (3)	△	
31	UBH-9B	乳	未 公 開 (2種) 6 + 10	北海道, 東北, 北陸, 関東, 近畿, 中国, 九州. (7)	寒地～温暖地 ○ 暖 地 △	一年生・マツバイ・ホタルイ・ヘ ラオモダカ・ミズガヤツリ(土壌 混和).
32	UBH-16B	粒	未 公 開 (3種) 5 + 1.5 + 0.8	東北, 北陸, 関東. (3)	□	
33	UBH-26	粒	未 公 開 (2種) 7 + 7	北海道, 東北, 北陸, 関東, 近畿, 中国, 九州. (7)	□	
34	UBH-28	粒	未 公 開 (2種) 4 + 7	北海道, 東北, 北陸, 関東, 近畿, 中国, 九州. (7)	□	
35	UBH-30	粒	未 公 開 (2種) 8 + 7	東北, 関東. (2)	△	
36	UBH-32	粒	未 公 開 (2種) 7 + 7	北海道, 東北, 北陸, 関東, 近畿, 中国, 九州. (7)	□	
37	UBH-33	粒	未 公 開 (2種) 8 + 8	東北, 関東. (2)	□	
38	UBH-34	粒	未 公 開 (2種) 5 + 8	東北, 関東. (2)	□	
39	YH-452	粒	未 公 開 (3種) 5 + 5 + 1.5	北海道, 東北, 北陸, 関東, 近畿, 中国. (6)	温暖地東部以 北 ○ 温暖地西部□	一年生・マツバイ・ホタルイ・ウ リカワ・ミズガヤツリ(ノビエ2.5 ～3.0Lまで).

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および含有率(%)	試験実施地域	判 定 結 果 概 要	
40	YH-453	粒	未公開(2種) 8+6	北海道, 東北, 北陸, 関東, 近畿, 中国, 九州. (7)	寒 地 △ 寒冷地以西○	一年生・マツバイ・ホタルイ・ウ リカワ・ミズガヤツリ(ノビエ2.5 Lまで).
41	YH-455	粒	未公開(3種) 5+6+1.2	北海道, 東北, 北陸, 関東, 近畿, 中国, 九州. (7)	全 域 ○	一年生・マツバイ・ホタルイ・ヘ ラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤ ツリ(ノビエ3Lまで).
42	MK-161	乳	未公開 8	東北, 関東, 中国. (3)	□	
43	MK-162	乳	未公開 8	東北, 関東, 中国. (3)	□	

注) 判定欄の記号については, ◎:極めて有望, □:可能性あり, △:再検討, ×:見込なし, を示す.

第2表 昭和58年度水稻作関係除草剤適2試験判定結果一覧表

判 定 区 分	実	実 ・ 継	継	継?	中止
II-1 土壤混和处理		ブタクロール乳, CGS-88乳, YH-431乳.	MT-228乳.		
II-2 移植前後土壤処理		ブタクロール粒, CG-113粒, CG・SW①粒, CH-81粒, M SW-2粒, MT-124粒, MT -225粒, SL-49粒, YH-411 ①粒.	MT-227粒, S-476粒, MY-71粒, MY-93・E粒, SR-815粒, CG-113(改)粒.		
II-3 移植後土壤処理	SB-77 ②粒.	SB-77②粒, DPX-84・A粒, FS-356粒, MM-3粒, MT・ CG①粒, NTN-801粒, NTN -804粒, S-471粒, S-473 粒, SL-493粒, SL-495粒, SR-811粒.	DPX-84・M粒, DPX-84・ M①粒, MY-45粒, CG-113 (改)粒, CG・SW①(改)粒, D PX-84・A①粒, HMT-317 粒, KNW-243粒, KNW- 244粒, MT・CG①(改)粒.		
II-4 茎葉兼土壤処理		NTN-805粒, NTN-806粒, SL-494粒.	MY-935・M粒, NY-433粒.		
II-5 適用時期拡大	B-3015 ・S粒, B-3015 ・SM③ 粒.	B-3015・S・BAS粒, HOK- 05・M粒, HW-52・SM粒, K H-199粒, KUH-812粒, M CP・BAS(Na)液, MCP・BA S(Na)①液, NTN-806粒, S L-49粒, TH-80粒.	MY-93・SM粒.		
II-6-(1) クログワイ 対象		BAS-3510粒.			
II-6-(2) オモダカ対象			S-28・SM粒.		

判 定 区 分	実	実 ・ 継	継	継 ?	中止
Ⅱ-6-(5) シズイ対象	B-3015 ・BAS 粒.	TH-63粒.	MCP・BAS(Na)Ⓔ粒.		
Ⅱ-6-(6) エゾノサヤ ヌカグサ対象		TH-63粒, SMX粒, BAS- 3510粒.	HOK-05・A粒.		
Ⅱ-6-(7) クサネム対 象		<u>HOK-05・A粒.</u>			
Ⅱ-6-(8) ウリカワ対 象			シメトリン・MCPB粒.		
Ⅲ-1 湛水直播		HW-52粒, <u>HW-52Ⓔ</u> 粒, M Y-93粒, SL-49粒.	MY-93・E粒, MC-79粒, BAS-514粒.		
Ⅲ-2 乾田直播		<u>TH-80粒.</u>			
Ⅳ 畦畔雑草		<u>Hoe-866液</u> , <u>NC-412HW</u> <u>水和</u> , <u>NHS-25液</u> , NHS- 60水溶.	DBN粒.		
Ⅶ 体系是正	MM-3 粒, MS -256粒, MS-358 粒.	<u>FSB粒</u> , <u>NTN-831粒</u> , <u>SL-</u> <u>496粒</u> , <u>SL-496Ⓔ</u> 粒, CG・ SWⒺ粒, MT・CGⒺ粒, SB -77粒, SL-494粒.			

- 注：1) 本年度は「継?」「中止」と判定された薬剤はなかった。
2) 本年度新規に使用基準の作成されたものは薬剤名にアンダーラインを入れた。
3) 2つ以上の区分にまたがるものについては、主要区分に統一整理した。

第3表 昭和58年度水稻作関係除草剤適2使用基準一覧表

区 分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ-1 稚苗…土壌混和処理	1) ブタクロ ール乳 (マーシェ ット乳)	土 壌 混 和 処 理	寒地.	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ.	植代直後 (<u>-6</u> ~-3).	ml/a 35~50 〔但し、 寒地は 40~50、 温暖地 東部の 早期は 50.〕	壤土~埴 土(1cm /日以下). 〔但し、 寒冷地、 温暖地 東部早 期は2 cm/日 以下.〕	1) 低気温および低水 温時の使用は、薬害 の危険性があるので 使用をひかえる。 2) ごく浅植えの場合、 薬害のおそれがある ので注意する。
			寒冷地.	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ミズガヤツ リ.				
			温暖地東部 の普通期、 早期.	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ミズガヤツ リ.				

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ-1 稚苗：土壌混和処理（つづき）	1) ブタクロール 乳（つづき）		温暖地西部以西の普通期。	一年生雑草・マツバイ。				
	2) CGS-88 乳	土壌混和処理	全域の普通期，温暖地西部以西の早期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ。 〔但し，ヘラオモダカは寒地のみ。〕	植代直後，整地板前（－3）。	ml/a 50～75	壤土～植土（2cm/日以下）。 砂 壤 土（1cm/日以下）。 〔但し，温暖地東部以北は砂壤土を除く。早期は壤土～植土（1cm/日以下）。〕	1) 移植後の深水はさける。
	3) YH-431 乳	土壌混和処理	全域の普通期，温暖地東部の早期。	一年生雑草・マツバイ・ヘラオモダカ。 〔但し，ヘラオモダカは寒地・寒冷地のみ。〕	植代直後，整地板前（－3）。	ml/a 50～65	壤土～植土（2cm/日以下）。 砂 壤 土（1cm/日以下）。 〔但し，砂壤土は温暖地西部以西のみ。〕	1) 移植後の深水はさける。
Ⅱ-2 移植前後土壌処理	1) ブタクロール 粒（マーシェット粒）	土 壌 処 理	寒地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ。	－8～＋10（ノビエ 1.5 L まで）。 ホタルイ：発生前～2 L。 ヘラオモダカ：発生前～始。	g/a 200～300	壤土～植土（2cm/日以下）。	1) 極端な浅植えはさける。 2) 低温時には使用しない。 3) 200 g/a 散布は多口ホース散布とする。 4) 早期での移植前3日以内の処理は薬害の危険性が大きい。
			寒冷地，温暖地の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ミズガヤツリ。 〔但し，ヘラオモダカは寒冷地の田植前の〕	－6～－3，＋3～＋10（ノビエ 1.5 L まで）。 ホタルイ：発生前～2 L。 ヘラオモダカ：発生前～始。 ミズガヤツリ：	田植前 200～ 300 田植後 300		

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
II 1 2 移植前後土壌処理 (つづき)	1) ブタクロール 粒 (つづき)			み、	発生前～3 L.			
			温暖地東部の早期.		-6～-4, +3～+8 (ノビエ 1.5 L まで). ホタルイ・ミズガヤツリ: 発生前～2 L.	g/a 300		
			暖地の早期・普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ.	-6～-3 (早期のみ). +3～+10 (ノビエ 1.5 L まで). ホタルイ: 発生前～2 L. ミズガヤツリ: 発生前～2 L.	田植前 200～ 300 田植後 300		
	2) CG-113 粒 (ソルネット 粒)	土 壌 処 理	寒地, 寒冷地.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ミズガヤツリ. 〔但し, ミズガヤツリは寒冷地のみ.〕	-5～+10 (ノビエ 1.5 L まで). ホタルイ・ヘラオモダカ・ミズガヤツリ: 発始まで.	g/a 300	砂壤土～埴土 (2 cm/日以下). 〔但し, 寒地は砂壤土を除く.〕	
			温暖地の早期・普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ミズガヤツリ. 〔但し, ヘラオモダカは温暖地東部のみ.〕	-3～+10 (ノビエ 1.5 L まで). ホタルイ・ヘラオモダカ・ミズガヤツリ: 発始まで.		埴土～埴土 (2 cm/日以下). 〔但し, 温暖地西部の普通期は埴土～埴土 (1 cm/日以下) とする.〕	
			暖地の早期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ.	+0～ノビエ 1 L まで. ホタルイ・ミズガヤツリ: 発始まで.		埴土～埴土 (2 cm/日以下). 砂 壤 土 1.5 cm/日以下).	
			暖地の普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ.	-3～+7 (ノビエ 1.5 L まで). ホタルイ・ミズ		〔但し, 普通期は砂壤土を除	

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 2	2) CG-113 粒 (つづき)	土			ギャツリ：発生 始まで。		[く。]	
移 植 前 後 土 壌 処 理 (つづき)	3) CG・SW ①粒 (クサホープ 粒)	土 壌 処 理	寒地。	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ・ウリカワ・ ヒルムシロ。	-3～+14 (ノ ビエ 1.5 L ま で)。 ホタルイ・ヘラ オモダカ：2 L まで。 ウリカワ：発生 前～始。 ヒルムシロ：発 生期。	g/a 300 ～ 400	砂壤土～ 埴土 (2 cm/日以 下)。	1) ピラズレートに準 ずる。 2) 泥炭質土壌では、 ウリカワに対する効 果が低下することが ある。
			寒冷地、温 暖地東部の 早期・普通 期。	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ・ウリカワ・ ミズギャツリ・ ヒルムシロ。 (但し、ヒルム シロは普通期 のみ。)	-3～+10 (ノ ビエ 1.5 L ま で)。 ホタルイ・ヘラ オモダカ・ミズ ギャツリ：発生 始まで。 ウリカワ：2 L まで。 ヒルムシロ：発 生期。			
			温暖地西部 の早期・普 通期。	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ウリカワ・ ミズギャツリ・ ヒルムシロ。	-3～+7 (ノ ビエ 1.5 L ま で)。 ホタルイ・ミズ ギャツリ：発生 始まで。 ウリカワ：2 L まで。 ヒルムシロ：発 生期。			
			暖地の普通 期。	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ウリカワ・ ヒルムシロ・ミ ズギャツリ。	-3～+7 (ノ ビエ 1.5 L ま で)。 ホタルイ：発生 前。 ウリカワ：2 L まで。 ミズギャツリ： 発生始まで。 ヒルムシロ：発 生期。			
			暖地の早期。	一年生雑草・マ	+0～+10 (ノ		砂壤土～	

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 1 2 移植前後土壌処理(つづき)	3) CG・SW ①粒 (つづき)			ツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ。	ビエ 1.5 L まで), ホタルイ：発生前, ウリカワ：2 L まで, ミズガヤツリ：発生始まで。		埴土 (1 cm/日以下),	
	4) CH-81 粒	土 壌 処 理	寒地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ。	- 3 ～ + 10 (ノビエ 1.5 L まで), ホタルイ・ヘラオモダカ：発生始まで。	g/a 300 ～ 400	砂埴土～埴土 (2 cm/日以下),	1) 深水処理はさける。 2) コナギ・ホタルイ・ミズガヤツリは早目に処理する。
			寒冷地。	一年生雑草・マツバイ・ <u>ホタルイ</u> 。			埴土～埴土 (2 cm/日以下),	
			温暖地東部の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ。	- 3 ～ + 7 (ノビエ 1.5 L まで), ホタルイ・ミズガヤツリ：発生始まで。		〔但し、 暖地は埴埴土～埴土 (2 cm/日以下),	
			温暖地西部以西の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ <u>ホタルイ</u> 。 〔但し、ホタルイは温暖地西部のみ。〕				
	5) MSW-2 粒	土 壌 処 理	寒地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ。	0 ～ + 5 (ノビエ 1 L), ホタルイ・ヘラオモダカ：発生始まで。	g/a 300	埴土～埴土 (2 cm/日以下),	
			寒冷地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ。	- 3 ～ + 5 (ノビエ 1 L まで), ホタルイ・ミズガヤツリ：発生始まで。			
			温暖地東部の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ。	- 3 ～ + 5 (ノビエ 1 L まで), ホタルイ：1 L まで。		砂埴土～埴土 (2 cm/日以下),	
			温暖地西部の早期・普通期。				埴土～埴土 (2 cm 以下), 〔但し、〕	

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
II 2 移植前後土壌処理(つづき)	5) MSW-2 粒 (つづき)						早期は 1cm/ 日以下.	
	6) MT-124 粒	土 壌 処 理	寒冷地北部, 温暖地, 暖 地の普通期.	一年生雑草・マ ツバイ.	-3~+5 (ノ ビエ1Lまで).	g/a 300 ~ 400 〔但し, 温暖地 は300 のみ.〕	寒冷地北 部, 温暖 地西部: 壌土~埴 土(2cm /日以下). 温暖地東 部: 砂壌 土~埴土 (2cm/ 日以下). 暖地: 埴 壌土~埴 土(1.5 cm/日 以下).	1) 処理後の深水をさ ける.
	7) MT-225 粒	土 壌 処 理	寒地, 寒冷 地, 温暖地 東部, 暖地 の普通期.	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ. 〔但し, ヘラオ モダカは寒地 ・寒冷地のみ.〕	-3~+5 (ノ ビエ1Lまで). ホタルイ・ヘラ オモダカ: 発生 始まで.	g/a 300 ~ 400 〔温暖地 東部は 300.〕	壌土~埴 土(2cm /日以下). 〔但し, 寒地は (1.5 cm/日 以下). 暖地は 埴壌土 ~埴土 (1.5 cm/日 以下).〕	1) 処理後の深水はさ ける.
	8) SL-49 粒 (ノバイサー粒)	土 壌 処 理	寒地. 寒冷地以西 の早期・普 通期.	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ・ウリカワ・ ヒルムシロ. 一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ・ウリカワ・ ミズガヤツリ・ ヒルムシロ. 〔但し, ヘラオ モダカは寒冷	+3~+7 (ノ ビエ1Lまで). ホタルイ・ヘラ オモダカ・ウリ カワ・ヒルムシ ロ: 発生始まで. -3~+7 (ノ ビエ1Lまで). 〔但し, 暖地普 通期はノビエ 1.5Lまで.〕 ホタルイ・ヘラ オモダカ・ヒル ムシロ: 発生始	g/a 300 ~ 400	砂壌土~ 埴土(2 cm/日以 下). 〔但し, 温暖地 西部の 早期は 壌土~ 埴土(2 cm/日 以下).〕	1) 泥炭質土壌ではウ リカワに対する効果 が低下することがあ る. 2) 砂壌土で著しい高 温条件の時は, クロ ロシスの発生が著し いので注意する.

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 1 2 移植前後土壌処理 (つづき)	8) SL-49 粒 (つづき)			地のみ、ミズ ガヤツリは暖 地の普通期を 除く。ヒルム シロは温暖地 東部と暖地の 早期を除く。	〔但し、温暖地 東部のホタル イは移植後処 理のみ、2 L まで。〕 ウリカワ：2 L まで。 ミズガヤツリ： 発生始まで(寒 冷地は1 L ま で、温暖地西 部は2 Lまで)。			
	9) YH-411 ①粒	土 壌 処 理	寒地。	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ。	-3～+7 (ノ ビエ1 Lまで)。 ホタルイ・ヘラ オモダカ：発生 始まで。	g/a 300～ 400	壤土～植 土(2 cm /日以下)。	1) 処理後の深水はさ ける。
			寒冷地。		+5～+7 (ノ ビエ1 Lまで)。 ホタルイ・ヘラ オモダカ：発生 始まで。			
			温暖地東部 の普通期。	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ。	-3～+5 (ノ ビエ1 Lまで)。 ホタルイ：発生 始まで。			
			温暖地西部 の普通期。	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ミズガヤツ リ。	-3～+5 (ノ ビエ1 Lまで)。 ホタルイ・ミズ ガヤツリ：発生 始まで。			
			暖地の普通 期。	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ミズガヤツ リ。	+3～+4 (ノ ビエ1 Lまで)。 ホタルイ・ミズ ガヤツリ：発生 始まで。		砂壤土～ 植土(1 cm/日以 下)。	
Ⅱ 3 移植後土壌処理	1) SB-77② 粒	土 壌 処 理	暖地の普通 期。	一年生雑草・マ ツバイ・ウリカ ワ。	+3～+10 (ノ ビエ2 Lまで)。 ウリカワ：2 L まで。	g/a 300	砂壤土～ 植土(2 cm/日以 下)。	1) SB-77 に準ずる。
	2) DPX-84 ・A粒	土 壌 処 理	寒地。	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ・ウリカワ。	+5～+15 (ノ ビエ1.5 Lま で)。 ホタルイ・ヘラ	g/a 300	植壤土～ 植土(1.5 cm/日以 下)。	

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ ― 3 移植後土壌処理 (つづき)	2) DPX-84 ・A粒 (つづき)				オモダカ：2L まで。 ウリカワ：発生 始まで。			
			寒冷地。	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ・ミズガヤツ リ。	+5～+10 (ノ ビエ 1.5 L ま で)。 ホタルイ・ヘラ オモダカ・ミズ ガヤツリ：2L まで。		壤土～埴 土 (2cm /日以下)。	
			温暖地東部の普通期。	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ウリカワ・ ミズガヤツリ。	+5～+7 (ノ ビエ 1.5 L ま で)。 ホタルイ・ウリ カワ・ミズガヤ ツリ：2Lまで。			
			温暖地西部の普通期。	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ミズガヤツ リ。	+5～+7 (ノ ビエ 1.5 L ま で)。 ホタルイ・ミズ ガヤツリ：2L まで。			
			暖地の普通期。	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ウリカワ	+5～+7 (ノ ビエ 1.5 L ま で)。 ホタルイ：発生 始。 ウリカワ：2L まで。		埴壤土～ 埴土 (1 cm/日以下)。	
	3) FS-356 粒	土 壌 処 理	寒地。	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ・ウリカワ・ ヒルムシロ。	+3～+15 (ノ ビエ <u>2L</u> まで)。 ホタルイ・ヘラ オモダカ・ウリ カワ：2Lまで。 ヒルムシロ：発 生期。	g/a 300～ <u>400</u>	砂壤土～ 埴土 (2 cm/日以下)。 〔但し、 砂壤土 は (1.5 cm/日 以下)。〕	
			寒冷地。	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ・ウリカワ・ ミズガヤツリ・ ヒルムシロ。	+3～+15 (ノ ビエ <u>2.5 L</u> ま で)。 ホタルイ・ヘラ オモダカ・ウリ カワ：3Lまで。		埴土～埴 土 (2cm /日以下)。 〔但し、 暖地は (1cm	

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
II 3 移植後土壌処理 (ぬき)	3) FS-356 粒 (つづき)				ミズガヤツリ： 2 Lまで。 ヒルムシロ：発 生期。		/日以 下)	
			温暖地東部 の早期・普 通期。	一年生雑草・マ ツバイ・ウリカ ワ。	+3～+15 (ノ ビエ 2.5 Lま で)。 ウリカワ：3 L まで。	g/a 300		
			温暖地西部 以西の普通 期。	一年生雑草・マ ツバイ・ウリカ ワ・ヒルムシロ 〔但し、ヒルム シロは温暖地 西部のみ。〕	+3～+12 (ノ ビエ 3 Lまで)。 ウリカワ：2 L まで。 ヒルムシロ：発 生期。	g/a 300～ 400		
	4) MM-3 粒 (オーザ粒)	土 壌 処 理	全域の早期 ・普通期。	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ・ウリカワ・ ミズガヤツリ。 〔但し、ヘラオ モダカは寒地 と寒冷地のみ、 ウリカワは温 暖地西部以西 の早期を除く、 ミズガヤツリ は寒地と暖地 の普通期を除 く。〕	+3～+10 (ノ ビエ 1.5 Lま で)。 〔但し、暖地の 早期は+3～ +10 (ノビエ 1 Lまで)〕 ホタルイ・ヘラ オモダカ・ウリ カワ・ミズガヤ ツリ：発生始～ 2 L。	g/a 300～ 400	壤土～埴 土(1.5 cm/日以 下)。 〔但し、 暖地早 期は砂 埴土(1 cm/日 以下) を含む〕	1) プタクロールに準 ずる。
	5) MT・CG ①粒 (ヨートル粒)	土 壌 処 理	全域の普通 期・早期。	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ・ウリカワ・ ミズガヤツリ。 〔但し、ヘラオ モダカは寒地 ・寒冷地・温 暖地東部のみ、 ミズガヤツリ は温暖地東部 のみ。ウリカ ワは温暖地以 西の早期を除 く。〕	+3～+10 (ノ ビエ 1.5 Lま で)。 〔但し、温暖地 西部以西の普 通期は+3～ +7 (ノビエ 1.5 Lまで)。 暖地の早期は +3～+8 (ノ ビエ 1.5 Lま で)〕 ホタルイ・ヘラ オモダカ・ウリ カワ：2 Lまで。 ミズガヤツリ： 発生始まで。	g/a 300～ 400 〔但し、 暖地早 期は 300。〕	壤土～埴 土(2 cm /日以下)。 〔但し、 寒冷地 ・温暖 地西部 の普通 期は砂 埴土(1 cm/日 以下)、 温暖地 西部の 早期は 埴土～ 埴土(1	

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ Ⅰ 3 移 植 後 土 壌 処 理 (つ づ き)	5) MT・CG ①粒 (つづき)				〔但し、温暖地 西部以西のホ タルイは発生 始まで。〕		cm/日 以下), 暖地の 早期は 砂壌土 ～埴土 (1.5 cm/日 以下).	
	6) NTN－ 801 粒 (ヒノクロア 粒)	土 壌 処 理	寒冷地以西 の普通期.	ノビエ・一年生 雑草・カヤツリ グサ・マツバイ.	+ 3 ～ + 14 (ノ ビエ 3.5 L ま で). 〔但し、寒冷地 ・温暖地東部 では～+10ノ ビエ 1.5 L ま で。〕	g/a 300 ～ 400 〔但し、 寒冷地 は 300 (のみ.)〕	埴土～埴 土 (2 cm /日以下). 〔但し、 温暖地 西部は 砂壌土 ～埴土 (1 cm /日以 下), 暖 地は埴 土～埴 土 (1 cm/日 以下).〕	
	7) NTN－ 804 粒	土 壌 処 理	寒冷地以西 の普通期.	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ・ウリカワ・ ミズガヤツリ. 〔但し、寒冷地 のミズガヤツ リ、温暖地以 西のヘラオモ ダカ、温暖地 東部・暖地の ホタルイを除 く。〕	+ 5 ～ + 15 (ノ ビエ 3 L まで). 〔但し、寒冷地 2 L まで、温 暖地東部 2.5 L まで、暖地 + 8 (1.5 L) ま で。 ヘラオモダカ： 3 L まで。 ウリカワ：2 L まで (寒冷地 は 3 L まで). ミズガヤツリ： 1 L まで。	g/a 300 ～ 400 〔但し、 寒冷地 ・暖地 は 300 (のみ.)〕	砂壌土～ 埴土 (2 cm/日以 下). 〔但し、 温暖地 東部は 埴土～ 埴土 (2 cm/日 以下), 温暖地 西部の 砂壌土 は (1 cm/日 以下), 暖地は 埴土～ 埴土 (1 cm/日 以下).〕	
	8) S－471 粒		寒地・寒冷 地・温暖地	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル	+ 3 ～ + 10 (ノ ビエ 1.5 L ま	g/a 300 ～	砂壌土～ 埴土 (2	1) 深水処理はさける.

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ Ⅰ 3 移植後土壌処理 (つづき)	8) S-471 粒 (つづき)	土 壌 処 理	の普通期, 温暖地東部 の早期.	イ・ヘラオモダ カ・ウリカワ・ ミズガヤツリ・ クログワイ. 〔但し, ヘラオ モダカは温暖 地西部を除く. ミズガヤツリ は寒地を除く. ウリカワは温 暖地の普通期 は除く. クロ グワイは寒冷 地と温暖地東 部の普通期の み.〕	で). ホタルイ・ヘラ オモダカ・ウリ カワ・ミズガヤ ツリ・クログワ イ:発生始まで. 〔但し, 温暖地 は+3~+7 (ノビエ1Lま で).〕	400 〔但し, 寒地・ 寒冷地 は300 のみ.〕	cm/日以下). 〔但し, 温暖地 西部は 砂壤土 を除く.〕	
	9) S-473 粒	土 壌 処 理	温暖地西部 以西の普通 期, 温暖地 東部の早期.	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ウリカワ・ ミズガヤツリ・ ヒルムシロ. 〔但し, 暖地は ヒルムシロ, 温暖地東部は ミズガヤツリ ・ヒルムシロ を除く.〕	+3~+9 (ノ ビエ1.5Lま で). ホタルイ・ウリ カワ・ミズガヤ ツリ:2Lまで. ヒルムシロ:発 生期.	g/a 300~ 400 〔但し, 暖地は 300.〕	壤土~植 土(2cm /日以下). 〔但し, 暖地は 砂壤土 ~植土 (1.5 cm/日 以下).〕	
	10) SB-77- ②粒 (シルベノン 粒)	土 壌 処 理	全域の普通 期, 温暖地 の早期.	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ・ウリカワ・ ミズガヤツリ・ ヒルムシロ. 〔但し, ホタル イとミズガヤ ツリは寒地を 除く, ヘラオ モダカは寒冷 地以北のみ, ヒルムシロは 寒地と温暖地 西部以西の普 通期のみ.〕	+3~+10 (ノ ビエ2Lまで). 〔但し, 寒地は ノビエ1.5L まで, 温暖地 西部の早期は +3~+12.〕 ホタルイ・ヘラ オモダカ・ウリ カワ・ミズガヤ ツリ:2Lまで. ヒルムシロ:発 生期.	g/a 300~ 400 〔但し, 400は 寒地と 温暖地 西部の 早期の み.〕	砂壤土~ 植土(2 cm/日以 下). 〔但し, 温暖地 西部の 早期は 壤土~ 植土(1 cm/日 以下).〕	1) 泥炭質土壌ではウ リカワに対する効果 が低下することがあ る. 2) 砂壤土で著しい高 温条件の時はクロロ シスの発生が著しい ので注意する.
	11) SL-493 粒	土 壌 処 理	全域の早期 ・普通期.	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ・ウリカワ・ ミズガヤツリ・	+1~+10 (ノ ビエ2Lまで). 〔但し, 寒地・ 寒冷地・暖地 の早期はノビ	g/a 300~ 400 〔但し, 砂壤土	砂壤土~ 植土(2 cm/日以 下). 〔但し,〕	

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 3 移植後土壌処理 (つづき)	11) SL-493 粒 (つづき)	土 壌 処 理		ヒルムシロ。 〔但し、ヘラオ モダカは温暖 地東部以北の み、ミズガヤ ツリは温暖地 以西、ヒルム シロは寒冷地 と暖地の早期 を除く。〕	エ1.5 Lまで。 ホタルイ・ヘラ オモダカ・ミズ ガヤツリ：2 L まで。 〔但し、暖地早 期のホタルイ は1 Lまで。〕 ウリカワ：3 L まで。 ヒルムシロ：発 生期。	は 300 〔のみ。〕	暖地の 早期は 1 cm/ 日以下、 温暖地 西部の 早期は 壤土～ 埴土(1 cm/日 以下)。	
	12) SL-495 粒	土 壌 処 理	全城の普通 期、温暖地 東部と暖地 の早期。	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ・ウリカワ・ ミズガヤツリ・ ヒルムシロ。 〔但し、ヘラオ モダカは寒地 ・寒冷地のみ、 ミズガヤツリ は温暖地西部 の普通期と暖 地早期のみ、 ヒルムシロは 温暖地西部の 普通期のみ。〕	+ 3～+10 (ノ ビエ寒地・寒 冷地は1 Lま で、温暖地以 西は1.5 Lま で)。 ヘラオモダカ・ ホタルイ・ウリ カワ・ミズガヤ ツリ：寒地・寒 冷地は1 Lま で、温暖地以 西は2 Lまで、 ヒルムシロ：発 生期。	g/a 300 〔但し、 温暖地 東部は 300～ 400。〕	壤土～埴 土(2 cm /日以下)。 〔但し、 温暖地 西部は 砂壤土 (1 cm /日以下) を含む。 また、 暖地の 早期は 埴壤土 ～埴土 (1 cm /日以下)、普 通期は 壤土～ 埴土(1 cm/日 以下)。	
	13) SR-811 粒	土 壌 処 理	寒地。	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ・ウリカワ。	+ 3～+10 (ノ ビエ1 Lまで)。 ホタルイ・ヘラ オモダカ・ウリ カワ：発生始ま で。	g/a 300	壤土～埴 土(2 cm /日以下)。	
			暖地の普通 期。	一年生雑草・マ ツバイ・ウリカ ワ。	+ 3～+ 7 (ノ ビエ2 Lまで)。 ウリカワ：2 L まで。	g/a 300～ 400	壤土～埴 土(1 cm /日以下)。	

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 4 茎葉兼 土壌処 理	1) NTN－ 805 粒	茎葉・土壌	寒冷地、 <u>温暖地東部の早期・普通期、温暖地西部の普通期。</u>	一年生雑草・マツバイ。	+7～+15（ノビエ2Lまで）。	g/a 300～ 400	<u>壤土～埴土</u> （2cm/日以下）。	1) シメトリン混合剤の使用上の注意を守る。
	2) NTN－ 806 粒	茎葉・土壌処理	温暖地の普通期・ <u>早期。</u>	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ヒルムシロ。	+15～+20（ノビエ3.5Lまで）。 ホタルイ：3Lまで。 ウリカワ：5Lまで。 ヒルムシロ：発生盛～増殖初期。 〔但し、温暖地西部早期はホタルイ・ウリカワは2Lまで。〕	g/a 300～ 400 〔但し、400は温暖地西部のみ。〕	砂壤土～埴土（1cm/日以下）。 〔但し、温暖地西部の早期は砂壤土を除く。〕	1) シメトリン混合剤の使用上の注意を守る。 2) 低温時は、薬害発生の危険性があるので使用はさける。
	3) SL－494 粒 (パコム粒)	茎葉・土壌処理	寒地・寒冷地・温暖地東部の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヒルムシロ。 〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く、ヒルムシロは温暖地東部を除く。〕	+7～+12（ノビエ2.5Lまで）。 〔但し、寒地はノビエ1.5Lまで、寒冷地はノビエ2.0Lまで。〕 ホタルイ・ヘラオモダカ・ミズガヤツリ：2Lまで。 ウリカワ：4Lまで。 ヒルムシロ：発生期。	g/a 300～ 400 〔但し、砂壤土は300のみ。〕	砂壤土～埴土（2cm/日以下）。	1) ミズガヤツリに対し遅い処理では400g/a 散布する。
			温暖地西部以西の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヒルムシロ。 〔但し、ヒルムシロは暖地の早期を除く。〕	+5～+12（ノビエ2.0Lまで）。 〔但し、暖地の普通期のみ2.5Lまで。〕 ホタルイ・ヘラオモダカ・ミズガヤツリ：2Lまで。 ウリカワ：4L		砂壤土～埴土（2cm/日以下）。 〔但し、温暖地西部の早期は埴土～埴土（1cm/日）	

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ-4 茎葉兼土壌処理(つづき)	3) SL-494 粒 (つづき)	茎葉・土壌処理			まで。 ヒルムシロ：発 生期。 〔但し、暖地早 期のホタルイ ・ミズガヤツ リは発生始ま で。〕		以下)、 暖地の 早期は 壇壇土 ～壇土 (1 cm /日以下)	
Ⅱ-5 適用時期拡大	1) B-3015 ・S粒 (サターンS 粒)	茎葉・土壌処理	全域の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ。	田植前後土壌処理した場合、 +15～+25 (ノビエ2Lまで)。	g/a 300～400 〔但し、寒地は300のみ。〕	砂壇土～壇土(極端な漏水田は除く)	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) シメトリン混合剤使用上の注意を守る。
	2) B-3015・S・BAS (酸)粒 (エスグラン粒)	茎葉・土壌処理	寒地。 寒冷地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・エゾノサヤスカグサ。 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ。	田植前後土壌処理した場合、 +20～+25 (ノビエ2.5 Lまで)。 〔但し、寒地はノビエ2 Lまで。〕 ホタルイ：発生始～3 L。 ヘラオモダカ：発生始～4 L。 ミズガヤツリ：発生始～5 L。 エゾノサヤスカグサ：～1 Lまで。	g/a 300～400	壇土～壇土(2 cm/日以下)。	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。
	3) B-3015・SM-③ 粒 (クミリードSM粒)	茎葉・土壌処理	寒地。 寒冷地、温暖地東部の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ。 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・オモダカ・ミズガヤツリ・クログワイ。 〔但し、ヘラオモダカは寒冷地のみ。〕	田植前後土壌処理した場合、 寒地：+20～+30 (ノビエ2.5 L)。 寒冷地・温暖地東部：+20～+30 (ノビエ3 L)。 温暖地西部以西：+20～+30 (ノビエ3 L)。 〔但し、寒冷地以北はイネ5 L期以降。〕 ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリ	g/a 300～400 〔但し、寒地は300。〕	壇土～壇土(2 cm/日以下)。 砂壇土(1 cm/日以下)。	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) シメトリン混合剤使用上の注意を守る。 3) 低温時は、薬害発生の危険性があるので使用はさける。 4) クログワイ防除はクログワイに有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 5 適用時期拡大 (つづき)	3) B-3015・ SM-③ 粒 (つづき)		温暖地西部 以西の普通 期.	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ウリカワ・ オモダカ・クロ グワイ. 〔但し、クログ ワイは温暖地 西部のみ.〕	カワ・ミズガヤ ツリ：発生始～ 4 L. 〔但し、温暖地 西部以西のウ リカワは発生 始～5 L.〕 オモダカ：発生 始～2 L (温 暖地西部以西 のオモダカは 発生始～矢じ り葉初期). クログワイ：発 生始～草丈5 cm.			
	4) HOK-05 ・M粒 (セスロン粒)	茎 葉 ・ 土 壌 処 理	寒地.	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ.	田植前後土壌処 理した場合、 +20～+25 (ノ ビエ 2.5 L ま で).	g/a 300 ～ 400	砂壤土～ 埴土 (2 cm/日以 下). 〔但し、 暖地普 通期は 砂壤土 ～埴土 (1 cm /日以 下).〕	1) 前処理剤との組み 合わせで使用する. 2) シメトリン混合剤 の使用上の注意をま もる. 3) 低温時は薬害発生 の危険性があるので 使用はさける.
			寒冷地.	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ・ウリカワ.	〔但し、寒地は ノビエ 2 L ま で、寒冷地以 北はイネ 5 L 以降.〕			
			温暖地以西 の普通期, 温暖地西部 以西の早期.	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ウリカワ・ ミズガヤツリ・ ヒルムシロ・セ リ. 〔但し、ミズガ ヤツリは温暖 地西部以西の 早期、セリは 温暖地西部の 普通期のみ.〕	ホタルイ：2 L まで. ヘラオモダカ： 3 L まで. ウリカワ：4 L まで. ミズガヤツリ： 5 L まで. ヒルムシロ：増 殖初期. セリ：増殖初期 まで. 〔但し、寒冷地 のミズガヤツ リは 3 L まで.〕			
	5) HW-52・ SM粒	茎 葉 ・ 土 壌 処 理	全域の普通 期.	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ・ウリカワ. 〔但し、ホタル イは温暖地東 部・暖地を除 く.ヘラオモ	田植前後土壌処 理した場合、 +20～+25 (ノ ビエ 2.5 L ま で). 〔但し、寒地は ノビエ 2 L ま で、寒冷地以	g/a 300 ～ 400 〔但し、 寒地は 300 の み.〕	砂壤土～ 埴土 (2 cm/日以 下). 〔但し、 寒地と 温暖地 の埴土	1) 前処理剤との組み 合わせで使用する. 2) シメトリン混合剤 の使用上の注意をま もる. 3) 低温時は薬害発生 の危険性があるので 使用はさける.

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	使 用 上 の 注 意
II I 5 適用時期拡大 (つづき)	5) HW-52・ SM粒 (つづき)			〔ダカは寒地のみ。〕	〔北はイネ5L期以降。〕 ホタルイ・ヘラオモダカ：2Lまで(寒地・寒冷地のウリカワは4Lまで)。		〔～埴土(2cm/日以下)、温暖地西部は砂埴土(1cm/日以下)。〕 〔～埴土(1cm/日以下)。〕	
	6) KH-199 粒 (モゲブロン粒)	茎葉・土壌処理	寒地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ <u>ヒルムシロ</u> 。	田植前後土壌処理した場合、 寒地：+20～+30。 寒冷地・暖地：+20～+25。 温暖地：+15～+20。	g/a 300～400 〔但し、寒地と暖地は300のみ。〕	砂埴土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、寒地・温暖地東部・暖地は砂埴土を除く。〕	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) シメトリン混合剤の使用上の注意を守る。 3) 低温時は、薬害発生の危険性があるので使用はさける。
			寒冷地以西の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ <u>ヘラオモダカ</u> ・ <u>ヒルムシロ</u> ・ <u>ウキクサ</u> ・ <u>表層剥離</u> ・ <u>アオミドロ</u> 〔但し、ホタルイは温暖地西部の早期と暖地の普通期を除く。ヘラオモダカは寒地と寒冷地のみ。ヒルムシロは寒地・温暖地東部と暖地の早期を除く。ウキクサは温暖地西部のみ。アオミドロ・表層剥離は寒冷地のみ。〕	〔但し、ノビエ〕 1.5Lまで、寒冷地以北はイネ5L期以降。 ホタルイ：発生始～5L。 ヘラオモダカ：発生始～4L。 ウリカワ：発生盛～5L。 ヒルムシロ：発生盛～増殖初期。			
	7) KUH-812粒	茎葉・土壌処理	寒地・ <u>寒冷地</u> ・ <u>温暖地東部の早期</u> 。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ。 〔但し、ホタルイ・ヘラオモ〕	田植前後土壌処理した場合 +20～+25(ノビエ2Lまで)。 〔但し、寒冷地はノビエ2.5〕	g/a 300	砂埴土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、寒冷地〕	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる。 3) 低温時は薬害発生

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ ― 5 適用時期拡大 (つづき)	7) KUH-812粒 (つづき)			〔ダカは温暖地 東部を除く。〕	〔Lまで、寒冷 地以北はイネ 〔5L期以降。〕 ホタルイ・ヘラ オモダカ・ウリ カワ：2Lまで。 〔但し、寒冷地 ではホタルイ ・ヘラオモダ カ・ウリカワ ：3Lまで。〕		と温暖 地東部 は壇土 (2cm /日以 下)。	の危険性があるので 使用はさける。
	8) MCP・ BAS(Na) 液	茎葉 処理 ：落 水散 布	寒地。	一年生非イネ科 雑草・マツバイ ・ホタルイ・ヘ ラオモダカ・ウ リカワ。	MCP 散布時期 に準ずる。 〔但し、寒地は〕 幼穂形成始期 寒地：+40 ～+48。暖地 の早期：+40 ～+50。暖地 の普通期：+ 〔15～+26。〕	mL/a 30～50	全 土 壤	1) 前処理剤との組み 合わせで使用する。 2) 水稲になるべくか からないようにする 3) 処理後の灌水は、 48～72時間経過後に 行なう。 4) 処理後2日以内に 降雨が予想される場 合は、使用をさしひ かえる。 5) クログワイ防除は クログワイに有効な 前処理剤との組み合 わせで使用する。
			寒冷地。	一年生非イネ科 雑草・マツバイ ・ホタルイ・ヘ ラオモダカ・ウ リカワ・ミズガ ヤツリ・クログ ワイ・コウキヤ ガラ・セリ。	一年生非イネ科 雑草：生育期。 ホタルイ：発生 揃～4L。 ヘラオモダカ： 発生揃～5L。 ウリカワ：塊茎 形成前。 オモダカ：発生 盛～前期。 ミズガヤツリ： 発生盛～前期。 クログワイ・セ リ：増殖盛期 (寒冷地のク ログワイは草 丈30cmまで)。 コウキヤガラ： 40～60cm(温 暖地以西普通 期のコウキヤ ガラ対象は+ 30～+40)。			
			温暖地の早 期・普通期。	一年生非イネ科 雑草・マツバイ ・ホタルイ・ヘ ラオモダカ・ウ リカワ・ミズガ ヤツリ・クログ ワイ・コウキヤ ガラ・セリ。 〔但し、ヘラオ モダカ・オモ ダカ・クログ ワイ・コウキ ヤガラ・セリ は温暖地西部 の早期を除く。〕				
			暖地の早期 ・普通期。	一年生非イネ科 雑草・マツバイ ・ホタルイ・ヘ ラオモダカ・ウ リカワ・ミズガ ヤツリ・クログ ワイ・コウキヤ ガラ・セリ。				

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 5 適用 時期 拡大 (き)	8) MCP・BAS(Na)液 (つづき)			〔但し、ヘラオモダカ・クログワイは普通期のみ、セリは早期のみ。〕				
	9) MCP・BAS①(Na)粒	茎葉処理： 浅水もしくは落水散布	寒地。	一年生非イネ科雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ。	田植前後土壌処理した場合、 +30～+45。 〔但し、温暖地および暖地早期：+20～+30。 暖地普通期：+15～+30。〕	g/a 300～400	砂壤土～埴土(1.5cm/日以下)。 〔但し、暖地早期は埴土～埴土。〕	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) 落水もしくは浅水で使用する。 3) 処理後の灌水は、48～72時間経過後に行なう。 4) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は、使用をさしひかえる。
			寒冷地。	一年生非イネ科雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ。	一年生非イネ科雑草：生育期。 ホタルイ：発生揃～4L。			
			温暖地以西の普通期、温暖地東部および暖地の早期。	一年生非イネ科雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ。	ヘラオモダカ・ミズガヤツリ：発生揃～6L。 ウリカワ：増殖開始前。			
	10) NTN-806粒	茎葉・土壌処理	全域の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ヒルムシロ。 〔但し、ヘラオモダカは寒地と寒冷地のみ、ヒルムシロは寒冷地と暖地を除く。〕	田植前後土壌処理した場合、 +20～+25(ノビエ3.5Lまで)。 〔但し、寒地は+20～+30(ノビエ2.5Lまで)、寒冷地はノビエ2.5Lまで、暖地はノビエ3Lまで、寒冷地以北はイネ5L期以降。〕 ホタルイ：3Lまで(寒地・寒冷地は2Lまで)。 ヘラオモダカ：3Lまで。 ウリカワ：5Lまで(寒地は3Lまで、寒冷地は4Lまで)。	g/a 300～400	砂壤土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、寒冷地は埴土～埴土(2cm/日以下)、温暖地西部早期は埴土～埴土(1cm/日以下)、暖地は埴土～埴土(1cm/日以下)。〕	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる。 3) 低温時は薬害発生の危険性があるので使用はさける。

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 5	10) NTN-806粒 (つづき)				ヒルムシロ：発生盛～増殖初期。			
適用時期拡大(つづき)	11) SL-49粒 (ノバイサー粒)	土壌処理	寒地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ヒルムシロ。	田植前後土壌処理した場合、+10～+15(ノビエ1Lまで)。 〔但し、暖地は〕1.5Lまで。 ヘラオモダカ：発生始まで。 ホタルイ・ミズガヤツリ・オモダカ：2Lまで。 〔但し、寒地・寒冷地のホタルイは発生始まで。 ウリカワ：3Lまで(寒地のウリカワは発生始まで)。 ヒルムシロ：発生期。	g/a 250～300	砂壌土～埴土(2cm/日以下)。	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) 泥炭質土壌では、ウリカワに対する効果が低下することがある。
			寒冷地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ。				
			温暖地の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヒルムシロ。 〔但し、オモダカは温暖地西部の普通期のみ。〕				
			暖地の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ。 〔但し、ホタルイ・ミズガヤツリは早期のみ。〕				
	12) TH-80粒 (クサノック粒)	茎葉・土壌処理	寒冷地以西の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ヒルムシロ。 〔但し、ホタルイは温暖地東部を除く。ヘラオモダカは寒冷地のみ。ヒルムシロは温暖地西部の普通期のみ。〕	田植前後土壌処理した場合、+15～+25(ノビエ2.5Lまで)。 〔但し、寒冷地は+20～+25, イネ5L期以降。〕 ホタルイ：発生揃～2L。 ヘラオモダカ：発生揃～3L。 ウリカワ：発生揃～5L。	g/a 300～400	砂壌土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、暖地早期は1cm/日以下。〕	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる。 3) 低温時は薬害発生の危険性があるので使用はさける。

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ ー 5 (つづき)	12) TH-80 粒 (つづき)				ヒルムシロ：発 生盛～増殖初 期。			
Ⅱ ー 6 ー 1 ク ロ グ ワ イ 対 象	1) BAS- 3510 粒 (バサグラン 粒)	茎 葉 処 理 ： 浅 水 も し く は 落 水 散 布	寒地。	一年生非イネ科 雑草・マツバイ ・ホタルイ・ヘ ラオモダカ・ウ リカワ。	田植前後土壌処 理した場合、 一年生非イネ科 雑草：生育期。 ホタルイ：発生 盛～花茎抽出 始期。	g/a 300 ～ 400 〔但し、 寒地は 400 ～ 600。〕	砂壤土～ 埴土(1.5 cm/日以 下)。 〔但し、 寒地は 埴土～ 埴土(2 cm/日 以下)〕	1) 前処理剤との組み 合わせで使用する。 2) 落水もしくは浅水 で使用する。 3) 処理後の溜水は48 ～72時間経過後に行 なう。 4) 処理後2日以内に 降雨が予想される場 合は、使用をさしひ かえる。 5) 寒地浅水処理は、 処理後3日間止水す る。 6) クログワイ防除は クログワイにも有効 な初期剤と組み合わ せて使用する。
			寒冷地以西 の普通期、 温暖地東部 ・暖地の早 期。	一年生非イネ科 雑草・マツバイ ・ホタルイ・ヘ ラオモダカ・ウ リカワ・オモダ カ・ミズガヤツ リ。 〔但し、オモダ カは暖地早期 を除く。ヘラ オモダカは温 暖地西部を除 く。〕	ウリカワ・ミズ ガヤツリ・ヘラ オモダカ：発生 盛～増殖初期 (温暖地以西 は発生盛～増 殖中期)。 オモダカ：発生 盛～発生前期 (温暖地西部 以西は発生盛 ～矢じり葉初 期)。			
			寒冷地・温 暖地東部。	クログワイ。	田植前後土壌処 理した場合、 寒冷地はクログ ワイ草丈10～ 15cm。 温暖地東部は+ 15～+30。 クログワイ：草 丈15cm以下。	g/a 300 ～ 400 〔但し、 温暖地 東部は 400 の み。〕	埴土～埴 土(2cm /日以下)。	
Ⅱ ー 6 ー 5 シ ズ イ 対 象	1) B-3015 S・BAS 粒 (エスグラン 粒)	茎 葉 処 理	寒冷地。	シズイ。	シズイ：草丈20 ～25cm(5～ 7L)。	g/a 300 ～ 400	埴土～埴 土(2cm /日以下)	
	2) TH-63 粒 (ワイダー粒)	茎 葉 処 理	寒冷地。	シズイ。	シズイ：草丈20 ～25cm(5～ 7L)。	g/a 300 ～ 400	砂壤土～ 埴土(2 cm/日以 下)。	
Ⅱ ー 6 ー 6	1) TH-63 粒 (ワイダー粒)	茎 葉 ・ 土 壌	寒地。	エゾノサヤスカ グサ。	田植前後土壌処 理した場合、 エゾノサヤスカ グサ：1～4L。	g/a 300 ～ 400	埴土～埴 土(2cm /日以下)	

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 6 6 エゾノサヤヌカグサ対象	2) SMX 粒 (バサグラン SM 粒)	茎葉・土壌処理	<u>寒地.</u>	エゾノサヤヌカグサ.	田植前後土壌処理した場合, エゾノサヤヌカグサ: 1~4 L.	g/a 300 ~ 400	壤土~埴土 (2 cm/日以下).	
	3) BAS-3510 水和 (バサグラン 水和)	茎葉もしくは落水散水布	<u>寒地.</u>	エゾノサヤヌカグサ.	田植前後土壌処理した場合, エゾノサヤヌカグサ: 1~4 L.	g/a 300 ~ 400	壤土~埴土 (2 cm/日以下).	
Ⅱ 6 7 クサネム対象	1) HOK-05A 粒 (グラキール 粒 2.5)	茎葉・土壌処理	<u>温暖地東部.</u>	クサネム.	田植前後土壌処理した場合, +20~+25 (クサネム 3 L まで).	g/a 300 ~ 400	壤土~埴土 (2 cm/日以下).	
Ⅲ 1 湛水直播	1) HW-52 粒	土壌処理	<u>寒冷地.</u> 温暖地以西.	ノビエ.	+3~ノビエ 2.5 L まで. 〔但し, <u>寒冷地</u> ・温暖地東部は 2 L まで.〕	g/a 300 ~ 400 〔但し, 温暖地東部は 300 のみ.〕	壤土~埴土 (1.5 cm/日以下). 〔但し, <u>寒冷地は埴土~埴土 (1.5 cm/日以下).</u> 〕	1) 他の草種に有効な薬剤と組み合わせて使用する.
	2) HW-52 ①粒	土壌処理	温暖地.	ノビエ.	+1~+5 (ノビエ 1 L まで).	g/a 300 ~ 400	壤土~埴土 (1.5 cm/日以下).	1) 他の草種に有効な薬剤と組み合わせて使用する.
	3) MY-93 粒	土壌処理	温暖地以西.	ノビエ.	+3~+7 (ノビエ 1.5 L まで).	g/a 300 ~ 400	壤土~埴土 (1 cm/日以下).	1) 他の草種に有効な薬剤と組み合わせて使用する.
	4) SL-49 粒 (ノバイザー 粒)	土壌処理	寒冷地.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ.	+3~+7 (ノビエ発生始まで). ホタルイ: 発生前. ミズガヤツリ: 発生始.	g/a 300 ~ 400	壤土~埴土 (2 cm/日以下).	
			温暖地以西.	一年生雑草・マ	+0~+3	300 g/a		

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	使 用 上 の 注 意
Ⅲ-1 湛水直播(つつき)	4) SL-49 粒 (つつく)		西	ツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ヒルムシロ。 〔但し、ホタルイ・ヒルムシロは温暖地東部を除く。〕	〔但し、温暖地西部は3〜+7(ノビエ1Lまで)。〕 ホタルイ：発生始まで。 ウリカワ：2Lまで。 ヒルムシロ：発生始まで。			
Ⅲ-2 乾田直播	1) TH-80 粒 (クサノック粒)	茎葉・土壌処理	温暖地西部、	一年生雑草。	湛水5〜7日後。	g/a 300〜 400	壤土〜埴土(2cm/日以下)。	1) シメトリン混合剤、MCPBの使用上の注意を守る。
Ⅳ 畦畔雑草	1) Hoe-866 液 (バスタ液)	茎葉処理	寒冷地、温暖地。	全草種。	雑草生育期。	m/a 50〜 100 〔但し、寒冷地は75〜100。〕	全 土 壌	1) ノリ面散布はさける。 2) 流入・飛散等による水稲への薬害に注意する。
	2) NC-412 HW水和	茎葉処理	寒冷地以西。	全草種。 〔但し、チガヤ・ススキを除く。〕	雑草生育初期または刈取り後、草丈5〜10cm。	m/a 150〜 300	全 土 壌	1) ノリ面散布はさける。 2) 流入・飛散等による水稲への薬害に注意する。
	3) NHS-25 液	茎葉処理	温暖地西部。	全草種。	雑草生育期、草丈10〜30cm。	m/a 1500〜 3000	壤土〜埴土。	1) ノリ面散布はさける。 2) 流入・飛散等による水稲への薬害に注意する。
	4) NHS-60 水溶 (デゾレートA水溶)	茎葉処理	寒冷地以西。	全草種。	雑草生育期、草丈25〜30cm。	ml/a 750〜 1500 〔但し、寒冷地・温暖地は1000〜1500。〕	壤土〜埴土。	1) ノリ面散布はさける。 2) 流入・飛散等による水稲への薬害に注意する。
Ⅵ 体系是正	1) FSB 粒	茎葉土壌処理	全域の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ。	+5〜+12(ノビエ2.5Lまで)。 〔但し、寒地の〕	g/a 300〜 400	壤土〜埴土(2cm/日以下)。 温暖地西	1) ホタルイ・ミズガヤツリ優占圃場では400g/aを処理する。

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
VI 体 系 是 正 (つづき)	1) <u>FSB粒</u> (つづき)			ヒルムシロ・ミズガヤツリ。 〔但し、ホタルイは暖地、ヘラオモダカは温暖地以西、ミズガヤツリは寒地、ヒルムシロは温暖地東部・暖地をそれぞれ除く。〕	みは+7～+15(ノビエ2Lまで)。 ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ：2Lまで。 ヒルムシロ：発生期。		部は砂壤土(1cm/日以下)を含む。 暖地は減水深(1cm/日以下)。	
	2) <u>NTN-831粒</u>	土壌処理	寒地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ヒルムシロ。	+7～+15(ノビエ2Lまで)。 ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ：2Lまで。 ヒルムシロ：発生期。	g/a 300～400	壤土～埴土(2cm/日以下)。	
	3) <u>SL-496粒</u>	土壌処理	全域の普通期、温暖地東部と暖地の早期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ヒルムシロ。 〔但し、ヘラオモダカは温暖地西部以西、ミズガヤツリは温暖地東部以北と暖地普通期、ヒルムシロは温暖地西部以西をそれぞれ除く。〕	+3～+10(ノビエ2Lまで)。 〔但し、寒地は〕1Lまで。 ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ：2Lまで。 〔但し、寒地は〕発生始まで。 ヒルムシロ：発生期。	g/a 300～400	壤土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、暖地普通期は(1.5cm/日以下)。〕	1) 泥炭質土壌ではウリカワに対する効果が低下することがある。
	4) <u>SL-496①粒</u> (ワンオール6粒)	土壌処理	全域の普通期、温暖地東部と暖地の早期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヒルムシロ。 〔但し、ヘラオモダカは温暖地西部以西、ミズガヤツリは温暖地東部以北と暖地普通期、ヒルムシロは温暖地西部以西をそれぞれ除く。〕	+3～+10(ノビエ2Lまで)。 〔但し、寒地は〕1Lまで。 ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ：2Lまで。 〔但し、寒地は〕発生始まで。 ミズガヤツリ：2Lまで(温暖地西部は発生始まで)。 ヒルムシロ：発生期。	g/a 300～400	壤土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、暖地普通期は(1.5cm/日以下)。〕	1) 泥炭質土壌ではウリカワに対する効果が低下することがある。

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
VI 体 系 是 正 (つづき)	4) SL-496 ①粒 (つづき)			西部以西をそれぞれ除く。	生期。			
	5) CG・SW ①粒 (クサホープ粒)	土 壌 処 理	全域の普通 期, 温暖地 東部の早期。	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ・ウリカワ・ ミズガヤツリ・ ヒルムシロ。 〔但し, ヘラオ モダカは寒地 ・寒冷地・温 暖地東部のみ ヒルムシロは 普通期のみ。〕	+1～+10 (ノ ビエ 1.5 L ま で)。 〔但し, 寒地は +7～ノビエ 1 L まで, 温 暖地西部は+ 7～ノビエ 1.5 L まで, 暖地 は+5～ノビ エ 1.5 L まで。〕 ホタルイ・ヘラ オモダカ・ミズ ガヤツリ: 発生 始まで。 ウリカワ: 2 L まで。	g/a 300～ 400	砂壤土～ 埴土 (2 cm/日以下)。 〔但し, 寒地お よび温 暖地は 埴土～ 埴土の み。〕	1) CG・SW粒剤に準 ずる。 2) 泥炭質土壌ではウ リカワに対する効果 が低下することがあ る。
	6) MT・CG ①粒 (ヨートル粒)	土 壌 処 理	寒地～温暖 地西部の普 通期, 温暖 地東部の早 期。	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ・ウリカワ・ ミズガヤツリ。 〔但し, ミズガ ヤツリは温暖 地東部のみ。 ウリカワは温 暖地東部の早 期および温暖 地西部を除く。〕	+3～+10 (ノ ビエ 1.5 L ま で)。 ホタルイ・ヘラ オモダカ・ウリ カワ: 2 L まで。 ミズガヤツリ: 発生始まで。	g/a 300～ 400	埴土～埴 土 (2 cm /日以下)。	
	7) SB-77 粒 (シルベノン 粒)	土 壌 処 理	全域の普通 期, 温暖地 の早期。	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ・ウリカワ・ ミズガヤツリ・ ヒルムシロ。 〔但し, ホタル イとミズガヤ ツリは寒地を 除く。ヘラオ モダカは寒冷 地以北のみ。 ヒルムシロは 寒地と温暖地 西部以西の普 通期のみ。〕	+3～+10 (ノ ビエ 2 L まで)。 〔但し, 寒地は ノビエ 1.5 L まで, 温暖地 西部の早期は +3～+12〕 ホタルイ・ヘラ オモダカ・ウリ カワ・ミズガヤ ツリ: 2 L まで。 ヒルムシロ: 発 生期まで。	g/a 300～ 400 〔但し, 400 は 寒地と 温暖地 西部の 早期の み。〕	砂壤土～ 埴土 (2 cm/日以下)。 〔但し, 温暖地 西部早 期は埴 土～埴 土 (1 cm/日 以下)〕	1) 泥炭質土壌ではウ リカワに対する効果 が低下することがあ る。 2) 砂壤土で, 著しい 高温条件の時はクロ ロシスの発生が著し いので注意する。

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	使 用 上 の 注 意
VI 体 系 是 正 (つづき)	8), 9) MM-3 粒 (オーザ粒剤)	土 壌 処 理	全域の普通 期, 温暖地 東部の早期.	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ・ウリカワ・ ミズガヤツリ. 〔但し, ヘラオ モダカは寒冷 地以北のみ, ミズガヤツリ は寒地を除く.〕	+3~+10 (ノ ビエ 1.5 L ま で). ホタルイ・ヘラ オモダカ・ウリ カワ・ミズガヤ ツリ: 発生始~ 2 L まで.	g/a 300~ 400	壤土~埴 土 (1.5 cm/日以 下).	1) ブタクロール粒剤 に準ずる. 2) <u>移植後15~20日の 中耕は除草効果を低 下させる.</u>
	10), 13) MS-256 粒 (クサカリン 粒剤25)	土 壌 処 理	寒冷地以西 の早期, 普 通期.	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ・ウリカワ・ オモダカ・ミズ ガヤツリ・ヒル ムシロ. 〔但し, オモダ カは温暖地東 部のみ. ヘラ オモダカは寒 冷地と温暖地 東部のみ. ヒ ルムシロは温 暖地西部以西 の早期を除く.〕	+1~+10 (ノ ビエ 1.5 L ま で). ホタルイ・ヘラ オモダカ・ウリ カワ・オモダカ ・ミズガヤツリ : 発生始まで. 〔但し, 温暖地 東部のヘラオ モダカは 2 L まで, 暖地の ウリカワは発 生前~2 L.〕 ヒルムシロ: 発 生期.	g/a 300~ 400	砂壤土~ 埴土 (2 cm/日以 下). 〔但し, 寒冷地 は砂壤 土を除 く, 暖 地の早 期は砂 壤土~ 埴土 (1 cm/日 以下).〕	1) ブタクロールおよ びピラゾレート粒剤 に準ずる.
	11) MS - 358 粒 (クサカリン 粒剤35)	土 壌 処 理	全域の普通 期, 温暖地 東部の早期.	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ヘラオモダ カ・ウリカワ・ ミズガヤツリ・ ヒルムシロ. 〔但し, ヒルム シロは寒地と 暖地のみ.〕	寒地・寒冷地: +1~+10 (ノ ビエ 1.5 L ま で). 温暖地東部: + 3~+13 (ノ ビエ 2 L まで). 温暖地西部以西 : +1~+10 (ノ ビエ 2 L まで). ホタルイ・ヘラ オモダカ・ミズ ガヤツリ: 2 L まで. ウリカワ: 3 L まで. ヒルムシロ: 発 生期まで.	g/a 300~ 400 〔但し, 400 は 寒地の み.〕	砂壤土~ 埴土 (2 cm/日以 下). 〔但し, 寒地の 400 g /a 処 理は砂 壤土を 除く.〕	1) ブタクロール粒剤 に準ずる. 2) 泥炭質土壌ではウ リカワに対する効果 が低下することがあ る. 3) 砂壤土で, 著しい 高温条件の時はクロ ロシスの発生が著し いので注意する.
			暖地の早期.	一年生雑草・マ ツバイ・ホタル イ・ウリカワ.	+1~+7 (ノ ビエ 1 L まで). ホタルイ: 2 L まで.			

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
VI 体 系 是 正 (つづき)	11) MS-358 粒 (つづき)				ウリカワ：3 L まで。			
	12) SL-494 粒 (バコム粒剤)	茎葉・土壌処理	全域の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヒルムシロ。 〔但し、ヘラオモダカは寒地以北のみ。ミズガヤツリは寒地を除く。ヒルムシロは寒地と温暖地西部以西の普通期のみ。〕	+7～+12 (ノビエ 2.5 L まで)。 〔但し、寒地はノビエ 1.5 L まで。寒冷地と暖地の早期はノビエ 2 L まで。〕 ホタルイ・ヘラオモダカ・ミズガヤツリ：2 L まで。 〔但し、暖地早期のホタルイとミズガヤツリは発生始まで。〕 ウリカワ：4 L まで。 ヒルムシロ：発生期。	g/a 300～400 〔但し、砂壤土は 300 のみ。〕	砂壤土～埴土 (2 cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部の早期は埴土～埴土 (1 cm/日以下)。 暖地の早期は埴土～埴土 (1 cm/日以下)〕	1) ミズガヤツリに対し、遅い処理では 400 g/a 散布する。

注：1) 薬剤名欄の下段に商品名〔() 内〕と登録後予定される商品名〔() 内 アンダーライン実線付〕を参考のために記載した。

2) アンダーライン実線は本年度拡大された部分、点線はその一部が拡大されたもの。

編 集 後 記

啓蟄……冬ごもりしていた虫が這いだしてくる頃だというのに、雪が舞いおち、氷河期に戻ったような寒い日が続く。このような寒気のためか、関東地方では梅の開花が2週間もおくれているという。3月に入っても未だ寒気が去らず、この異常気象に作物はどのようにして耐えているのであろうか。菜の花やキンセンカなどの花は開花しているものの、この寒さにふるえているようで、生育もあまりよいとはいえない。この異常寒波は、作物を栽培する者にとってはよい教訓となったであろうが、この経験を生かして作物の栽培計画に誤りのないように願いたい。品種の改良が進み、低温下で栽培できる品

種が出現したとしても、厳冬期での加温は当然必要となるであろうが、栽培技術の向上でこれを補ないたいものだ。

財団法人 日本植物調節剤研究協会

東京都台東区台東1丁目26番6号

電話 東京(03) 832-4188 (代)

昭和59年3月発行

植調第17巻第12号

¥300 (送料170)

編集人 日本植物調節剤研究協会専務理事 吉沢長人

発行人 植調編集印刷事務所 広田伸七

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会

発行所 植調編集印刷事務所

電話 東京(03) 833-1821 番(代)